

[記者発表資料]

平成22年12月10日

関東運輸局における「船員労働安全衛生月間」の実施結果について

船員災害防止活動を積極的に推進するため、関東運輸局では「第54回船員労働安全衛生月間」であった9月1日～9月30日の1ヶ月間、“笑顔待つ 家族に贈ろう無災害”をスローガンに各種取り組みを実施し、12月8日に関東船員災害防止連絡会議を開催しました。

本会議においては、管内各地区の船員労働安全衛生協議会から多彩な行事の報告がありましたので、主要な実施結果を下記のとおりお知らせします。

記

1. 船員の無料健康相談

9月1日～9月30日の期間中、管内の各医療機関7カ所で船員無料健康相談所の開設や訪船健康診断を実施し、302名の船員の方が利用されました。なお、高齢化によるものと思われる高血圧や内臓疾患などの症状が多くの船員にみられました。

2. 船員災害防止関東大会

9月10日（金）午後2時から横浜第2合同庁舎第1共用会議室（横浜市中区北仲通5-57）において、船員災害防止協会 常務理事 山下慎一氏による「リスクアセスメントの実務について」の講演が行われたほか、船員労働災害防止優良企業者認定制度に基づく認定書の交付や、船員災害防止活動に功績のあった方への表彰が執り行われました。なお、当日は、船員雇用事業者・団体等から113名の参加がありました。

3. 訪船指導

各地区において、関係機関・病院関係者・団体等で「安全衛生指導班」を組織し、各地区的港に停泊中の船舶（タグボート・油送船・漁船など）に訪船し、合計86隻の船舶に対し安全意識の高揚を図りました。

4. その他

サバイバルトレーニングを銚子港（参加者50名）において実施しました。

また、東京地区においては長距離フェリーの乗組員76名を対象に、東京海洋大学 佐野教授の指導による腰痛予防改善体操が実施され、大変好評を得ました。

関東運輸局海上安全環境部
船員労働環境・海技資格課 今村・石崎
5 045-211-7232
[配付先] 横浜海事記者クラブ
神奈川県政記者クラブ